

# 磯部用水

磯部用水は、坂井市丸岡町下安田で十郷用水から分流し、坂井市春江町を西へ流下しています。

この用水の起源は定かではありませんが、天平神護2年(766年)の東大寺荘田の記録に「磯部村」の名前があることから、十郷用水ともども奈良時代に計画され、12世紀の中頃に完成されたとされています。江戸中期には、磯部島周辺の16ヶ村、約600haを潤していました。



当時の磯部用水は、屈曲して流れていたため通水が悪く、大雨の時は頻繁に氾濫しました。

田畑を潤す命の水も、氾濫時には人々の生活を飲み込む暴君と姿を変えてしまいました。

利水の歴史は、渇水時の水の確保と増水時の沈静化と、様々な顔を見せる水との格闘の歴史と言えるでしょう。